11月 ほけんだより

令和８年 11 月１日　こぼうしこども園

園から見える山々が、少しずつ紅く色づいてきました。柿もオレンジ色に実り、会津にも秋の訪れを感じます。

晴れの日には園庭で元気に走ったり、鬼ごっこをしたりする園児の姿があります。冬になる前に思いきり体を動かして、感染症に負けない体づくりをしていきたいと思います。

歯科検診のおしらせ

11 月 20 日(金)は前期の歯科検診です。
9 時 30 分より行います。

歯科検診では次の項目を調べます。

・歯並び・かみ合わせ・あごの関節の異常
・むし歯の有無　・歯垢の有無　・歯肉の腫れ

登園前は、歯磨きやうがいを忘れずにお願いします。都合をつけていただき、休まず登園し、検診を受けましょう。検診結果につきましては、帰りにお便りにてお知らせします。

むし歯などある場合は、かかりつけ医の受診をお願いします。

送迎時のおねがい

お家の方や入園前の下のお子さんに、発熱や下痢・嘔吐などの症状がみられたり、体調がすぐれなかったり場合があると思います。その際は園には入らず、インターホンを押して下さい。職員が事務室入口よりお子さんの受け渡しをします。

ご協力よろしくお願いいたします。

乳幼児の下痢について

乳幼児期によくみられる下痢症状。“下痢”は冬に流行する感染症の症状として多く見られます。風邪や胃腸炎と診断されることが多いです。下痢といっても便の状態や回数も様々。「感染したら〇日休まなくてはいけない。」という明確な出席停止期間はありません。厚生労働省は「嘔吐、下痢症状が治まり、普段通りの食事が摂れていること。」を登園の目安としています。

下痢の症状は大人でも仕事に行くのが辛く、体のだるさを感じます。体がまだ小さく未発達な子どもなら、更に辛いはずです。また、下痢は脱水にもなりやすく、急に体調が悪化することも。元気だからといってすぐに登園するのではなく、便の回数、便の柔らかさ、水分が摂れているかをしっかり確認しましょう。感染することも考えられるので、ただの下痢だと甘くみず、下痢の際は小児科を受診し、医師の指示に従ってください。

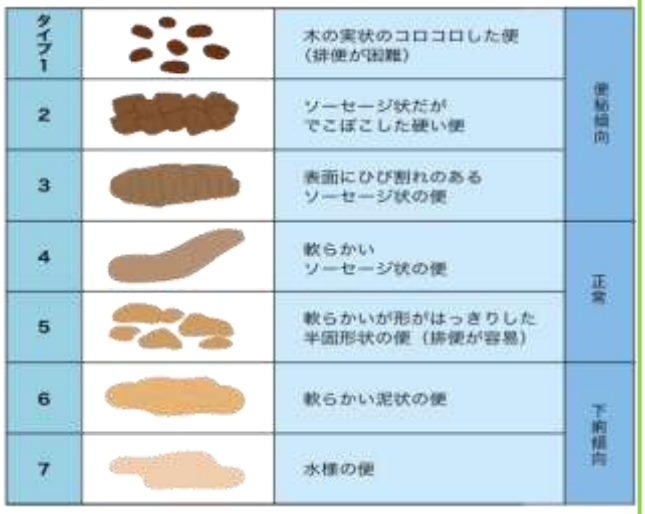
風邪のひきはじめに無理をすれば、こじらせることにもなります。また、治りかけのときに無理をすると、ぶり返す原因になります。無理をして登園することで更に悪化することも多くありますので、しっかり治すことが大事です。

まずはウンチの回数と形状を確認

１日に何回くらいの下痢か、水のようなウンチなのか、少しやわらかい程度なのかなど、回数と状態を確認します。

下痢かどうかを判断するポイントは、ふだんのウンチと比べて明らかに緩く、回数がしだいに増えること。下痢の場合は食べたものが未消化のまま排泄されるので、腐敗臭や酸っぱいにおいを伴うこともあります。変なにおいがするときは注意が必要です。

脱水の程度	軽症	中等症	重症
意識状態	正常～ 少しうとうと	眠りがち	意識がない
尿の量 尿の色	正常～少し少ない 正常～少し濃い	少ない 濃い	尿が出ない
口の中	湿っている	乾燥している	ひどく 乾燥している
涙	出る	少ない	出ない
皮膚の緊張	正常	低下している	ひどく 低下している
手足	正常～ 少しひんやり	ひんやり	冷たい



～登園を控えましょう～

■24 時間以内に水様便がある　■食事や水分をとると下痢がある■下痢に伴い、体温がいつもより高め■朝、排尿がない（脱水の可能性あり）■機嫌、顔色が悪く、元気がなかったりぐったりしている

こぼうしこども園入園のしおり(重要事項説書)にも記載していますが、以上のような場合は登園を控えましょう。